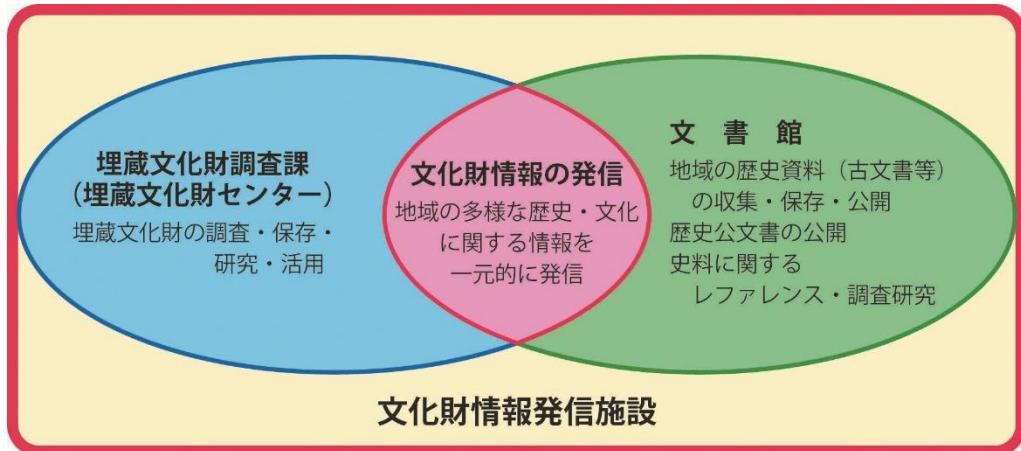


文化財情報発信施設整備について

【事業内容】

松江市文書館と埋蔵文化財調査課を、一体的に文化財情報を発信する施設として、現在の松江市環境センターを改修し整備するもの。



松江市文書館は令和7年3月に策定した「松江市文書館（仮称）基本計画」に基づき、歴史的に重要な公文書と地域に残る歴史資料（古文書等）を収集・保存し、市民の利用に供する。

埋蔵文化財調査課は、市役所別館からの執務室移転に伴い、埋蔵文化財センター（仮称）を整備する。埋蔵文化財保護の手続き、発掘調査と整理作業、出土文化財の管理等の各種機能を集約することで、埋蔵文化財の効果的な保護、調査、研究、活用の拠点とする。

【施設の特徴】

文書館・埋蔵文化財調査課が収蔵する歴史公文書や古文書、考古資料の閲覧室のほか、様々なテーマ展示を行う展示室や講座室も設け、多様な文化財を通して松江の歴史や文化に関する調査研究情報を市民へ発信する施設とする。

【事業スケジュール】

＜令和7年度＞

施設設計業務委託

＜令和8年度＞

施設改修工事（5月頃～）

埋蔵文化財調査課執務開始（9月頃～）

松江市文書館開館（令和9年3月）



施設の整備場所